芸術文化への功労者を表彰

市芸術文化協会が設立20周年を祝う記念式典を開催

平成18年４月１日の設立から20周年を迎えた市芸術文化協会（平野康彦会長）は９月27日、記念式典を西根地区市民センターで行いました。

式典には関係者約90人が出席。同協会の発展に貢献した17団体５人に感謝状が贈られたほか、会員２人が祝舞を披露し、20年の節目を祝いました。

平野会長は「市民に親しまれる芸術文化活動の推進と、次世代への継承や育成に、より一層取り組んでいく」とあいさつし、決意を新たにしました。



「皆さんの協力のおかげ」と関係者に感謝の言葉を述べる平野会長


力強くピッチを刻む１走の伊藤光駿さん（中央）

話題 ピックアップ

HACHIMANTAI NEWS & PICK UP

情報をお待ちしています。
広報広聴係（☎・内線1202）


150周年を祝う獅子舞に歓声を挙げる児童

皿回しや獅子舞に歓声と笑顔

寄木小が150周年・閉校記念事業で伝統芸能の鑑賞会

寄木小は10月22日、学校創立150周年・閉校記念事業として、郷土芸能をモチーフにしたパフォーマンスを行う多田純也氏（ただじゅん企画）を招き、一人舞台「だだすこだんだん」の芸術鑑賞会を開きました。

同日は、和太鼓や笛などのお囃子に合わせ、皿回しや獅子舞などが披露され、児童は、昔ながらの伝統芸能や和楽器演奏を楽しみました。髙橋結樹さん（６年）は「大きな皿を回していてびっくりしました。閉校はさびしいけど、とても楽しかった」と笑顔を見せました。

走り抜いた花巻路でダブル入賞

県中駅伝に出場の西根中が男女とも快走見せる

県中学校駅伝競走大会は10月２日、花巻市総合運動公園陸上競技場を発着点とする周回コースで行われ、本市から唯一出場した西根中は男子が５位、女子が７位に入賞しました。

東北大会の出場権獲得には届かなかったものの、男子は平成30年の同校優勝時のタイムを大幅に更新。女子も一時は２位に躍り出るなど、力走が光りました。女子のアンカーを務めた田村愛珠さん（３年）は「とても悔しいけど、みんなで声を掛け合うことが、３年間の練習を通じて、自分やチームが得られたことだと思う」と振り返りました。


田村愛珠さんにタスキをつなごうと力走する久慈璃杏さん（右）

国内外の暮らしで見えた視点

『マイストーリー』異文化理解講座×移住者交流会を開催

市外や海外から移住した人が、経験や思いを語り、市民と交流を深めるイベント「マイストーリー　異文化理解講座×移住者交流会」が９月30日、８テラスで開かれました。

本年度３回目のイベントとなった同日は、県外での暮らしを経てUターンした高木茉子さんと、ハロウ安比校のデザイン・美術科主任を務めるミア・ロングさんが発表。高木さんは「自分の価値観を相手に当てはめるのではなく、自分とは違うかもしれないと考えることが大切」と語り、参加者は、共感した様子で聞き入っていました。


スライドを交え、日本での出会いの広がりを伝えるミアさん（右）


地域の人と一緒に、鎌やバインダーで稲刈りを体験した参加者

刈って 結んで 乾燥させて

細野で稲刈り体験　子どもたちが手刈りや稲架掛けに挑戦

岩手に新しい小学校をつくる会（吉田大介代表）は10月３日、細野地区で稲刈り収穫体験会を開きました。

矢幅茂さん（豊畑）の田んぼを借りて行われた体験会には、市内外の親子約30人が参加。参加者は地域の人と、約10アールの田んぼ一面に広がる黄金色の稲を鎌やバインダーで刈り取ったほか、紐やわらで結び、天日干しで乾燥させるための稲架掛け※を行いました。

秋田県から参加した遠藤雅幸ちゃん（５歳）は「機械を使って稲を刈るのが楽しかった」と笑みを浮かべました。

※はさかけ、はざがけなどとも言われる

スナップギャラリー

SNAP GALLERY


八幡平遭難対策委員会捜索救助隊が、登山道の危険箇所や電波状況を確認した（10月３日、秋季遭難救助訓練）


傷口を縫う「縫合」のほか、分包機を使った「調剤」作業などを体験。仕事への理解を深めた（10月４日、市立病院「病院祭」）


県人権啓発活動ネットワーク協議会が、いわてグルージャ盛岡と連携し人権サッカー教室を開催（10月９日、松野小）


漆器の制作過程を体験できる「うるしるみしる」が開催。来場者は伝統工芸への理解を深めた（10月11、12の両日、岩手銀行赤レンガ館）


10月15日で100歳を迎えられた松村キミヨさん（中央）＝渋川開拓＝これからもお元気で（10月19日、麗峰苑）


10月４日で100歳を迎えられた平野幸子さん＝上町＝これからもお元気で（10月５日、ライラック安比高原）